

「今和泉小学校の棒踊り等伝承活動の取組」

1. 学校名	指宿市立今和泉小学校
2. 学年・人数	5年生 14人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 それぞれの地区の公民館で7月中旬から9月ごろまで練習をする。 (2) 発表の日時・場所 運動会オープニングセレモニーにて披露・今和泉地区文化祭にて披露
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 ・ チョイノチョイ ・ ^{いわもとぼうおど}岩本棒踊り ・ ^{しんにしかたぼうおど}新西方棒踊り (2) 由来 <u>チョイノチョイ（瀬崎・小牧地区）</u> 第17代当主の島津義弘が、文禄の役と、慶長の役に参戦した際、無事に凱旋した祝いとして踊られたといわれている。 <u>岩本棒踊り（岩本地区）</u> 江戸時代、第21代島津家当主の子、因幡三郎忠郷が病弱だったため、領主を慰めるために踊った。 <u>新西方棒踊り（新西方地区）</u> 田植え前後の豊作祈願であったが、その後、神社の祭りや諸行事で踊られるようになった。 (3) 構成等 チョイノチョイ・・・ 2人1組の前後2列で踊る。 岩本棒踊り・・・ 三尺棒と六尺棒の2種類を使って踊る。 新西方棒踊り・・・ 六尺棒と三尺棒を持った6人が1組となり、前後左右に入れ替わりながら、棒を打ち合う。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	それぞれの地域の保存会が中心となって練習等を計画し、活動している。学校では、保存会の方に講師として来校していただき、5年生の総合的な学習の時間に地域の郷土芸能の学習として位置付けている。保存会の方に由来や道具の意味、踊りを続ける意義など教えていただき、壁新聞にまとめた。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	 総合的な学習の時間の様子  運動会
7. 感想・意見 (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	児童・・・ 棒踊りの歴史や昔から行われてきたことや今も受け継がれていることに気付けた。 教職員・・・ 普段から各地区の踊りに関わっている子供もいるようで、伝統の踊りを受け継いでいく気概を感じた。 保存会・・・ 昔から伝わってきた踊りは地域の人たちにとって大切なものだから、これから先もずっと受け継いでいってほしい。